

そうべつ議会だより



壮瞥小学校 運動会

■ 第2回定例会のあらまし	2
■ 一般質問	4
■ 視察研修レポート	5
■ 薫風	8



壮瞥町議会
ホームページ



壮瞥町議会
YouTube



壮瞥町議会
facebook

No. 94

■ 2024年8月 ■

発行 / 壮瞥町議会

編集 / 議会広報特別委員会
(TEL 66-2121・FAX 66-7001)

定例会のあらまし

議案審議

地域住民の生活路を星野4号線として町道に認定

令和6年第2回定例会は、6月13日から14日までの2日間の会期で開催されました。1名の議員が一般質問を行い、町政を質しました。固定資産評価審査委員会委員の選任についてなど、議案18件、報告2件、諮問1件、意見案1件の審議と、選挙1件を行い、それぞれ可決、決定しました。

第2回 定例会

固定資産評価審査委員会委員の選任について

藤盛 元氏を委員に選任することと同意しました。

町道路線の認定について

質疑
今回認定する町道の内容について。

答弁

今回認定する町道は、長年にわたり地域住民の生活路として活用されており、沿線には住宅が立ち並ぶほか、戸建て住宅団地へも通じており公共性が高いことから、路線名を星野4号線として認定するものです。

議決後、道路用地を有償で町に譲渡してもらう予定で、現状は砂利道ですが、令和6年度中に舗装したいと考えています。

専決処分の承認（令和5年度
壮瞥町一般会計補正予算（第
14号））について

2億7,728万9千円減額

補正後の予算総額

53億8,789万1千円

スマート窓口経費

1,150万円減額

質疑

令和5年度中にスマート窓口（書かない窓口）を整備する予算が計上されていたが、その導入を見送り、より安価で効果が期待で

きるシステムに変更したため減額補正するとの説明があったが、詳細を伺いたい。

答弁

今回整備したシステムは、マイナンバーカードを読み取る機械とパソコン、プリンターによって構築されています。

このシステムでは、マイナンバーカードを提示していただく、氏名、住所及び生年月日を読み取って、住民票交付等の申請書にその情報を印刷してお渡しできるようになっています。

令和6年度壮瞥町一般会計補正予算（第1号）について

6,299万7千円追加

補正後の予算総額

56億5,799万7千円

有害鳥獣関係

85万円追加

質疑

南久保内に設置している囲いわなの赤外線センサー故障による修繕料が24万円、当該囲いわなの移設作業に係る経費61万円が補正予算の内容とのことだが、囲いわなの捕獲実績と、当該囲いわなの移設先について伺いたい。

答弁

4年度の捕獲実績は21頭、5年



第2回定例会の様子

令和6年 第2回

度は5頭。囲いわたの移設先は、上久保内の旧廃棄物処理場の隣接地を予定しています。

河川維持経費

240万円追加

質疑

南久保内川の河川敷地内に大量の投棄物が発見されたが、投棄者を特定できず、町が処理を行う必要があるため補正予算を計上したとのことだが、処理費は過大な金額なのではないか。

答弁

現地を確認した上、不法投棄として警察にも相談しましたが、状況証拠だけでは確実に犯人を特定

することが難しいとの見解をいただき、また、河川管理者である壮瞥町が早急に処理すべき必要があると判断したことから、大量の投棄物を処理するのに必要な経費を予算計上したものです。

指定管理者施設運営管理維持支援金

260万円追加

質疑

仲洞爺キャンプ場のトイレの新築によって清掃業務の負担が増していることから、指定管理者において清掃業務を外部委託することとするため補正予算を計上することとしますが、既存の指定管理委託料の中に清掃業務に係る経費が含ま

答弁

指定管理委託に係る経費は年間490万円となっていますが、清掃に関する経費は、来夢人の家も含めて57万円となっています。

質疑

今回提案のあった260万円と従前からの57万円を合算した金額317万円が外部への清掃委託金となるのか。他の施設と比較しても高額ではないか。

答弁

新築されたトイレ清掃のほか、来夢人の家の清掃や広範囲の

清掃業務が予定されているため、提案の金額となっています。

本議案は、佐藤議員から反対討論があったため、起立採決の結果、原案賛成者7名、反対者1名で、原案可決となりました。

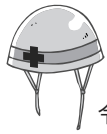
選挙管理委員及び同補充員の選挙について

本年7月16日で選挙管理委員及び同補充員の任期が満了となるため、本定例会において選挙を実施し、選挙管理委員に千田重光氏、松本晃氏、畠山政明氏、田中文夫氏の4名、同補充員に小松正明氏、関義克氏、渡邊幸男氏、富田るみ氏の4名が当選されました。

意見書

次の意見書を採択しました。

〇ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書



工事発注状況

令和6年5月まで

() 内は予定価格

- 町道滝之町中島1号線道路改良舗装その3工事
24,750,000円(25,498,000円)
壮建興業(株)
- 国道453号支障物件移設工事
66,550,000円(68,255,000円)
道栄・壮建特定建設工事共同企業体
- 新山3号橋補修工事
54,780,000円(56,155,000円)
(株)出田建設
- 地域情報通信局舎空調等更新工事
7,485,940円(7,821,000円)
東日本電信電話(株)
- 町道滝之町中島1号線道路改良舗装その4工事
3,630,000円(3,740,000円)
壮建興業(株)
- 弁景57年泉源ポンプ等入替工事
1,045,000円(1,097,800円)
(有)堀口水道
- 町道関内蟠溪線仮設信号機等設置工
2,563,000円(2,651,000円)
壮建興業(株)
- 水道メーター器取替工事
5,335,000円(5,500,000円)
(有)堀口水道
- 建部B団地街路灯設置工事
1,606,000円(1,694,000円)
(株)堀口電気商会

【壮瞥町子ども読書活動推進計画の取り組みについて】

Q 取り組み内容と成果や今後の課題、スマホの影響は

A 学校と家庭と連携し、これまでの取り組みを継続する



湯浅祥治

議員

文部科学省が昨年4月に実施した全国学力・学習状況調査アンケートで、読書好き、新聞を読んでいる児童生徒ほど成績が良い傾向結果を受け、壮瞥町子ども読書活動推進計画の取り組み内容、成果や課題、スマホが与える悪影響について伺う。

教育長

乳幼児や就学前児童に対しての読み聞かせや本の紹介をするブックスタート事業、ぴよちゃんカードの発行、小・中学校児童生徒への山美湖図書室の本の定期的な貸し出し、ボランティアによる読み聞かせの実施等、本に親しむきつ

かけづくり、環境づくりに取り組んでいる。本が好き、読書が好きという意識の定着が図られている。

課題は壮瞥町における学力学習状況分析結果で、語彙力や文章力、読解力に課題があり、読書活動の重要性を実感してもらえよう図書ボランティア、学校と家庭と連携し取り組みを継続していく。

スマホの悪影響は、健康被害、コミュニケーション能力低下、情報漏洩やネット詐欺の危険性を指摘されており、ルール作り、使い方方を家庭や学校と連携し推進する。

マイナンバー情報照会について

Q 壮瞥町のマイナンバー情報照会利用の現状は

A 国の取り扱いに従い事務を進める

議員

5月15日の会計検査院のマイナンバーに関する調査結果を受け、各種メディアもその問題点を報じているが、壮瞥町におけるマイナンバー情報照会利用について伺う。

① 壮瞥町におけるマイナンバー情報照会が可能な事務手続総数は。

② 会計検査院の報告書で、マイナンバー情報照会を利用していない事例が指摘されたが、本町ではどうか、その原因は。

③ 自治体業務の効率化は、どの程度実現されたか、かえって自治体業務が滞った事例はないか。

町長

① デジタル庁が公表している事務手続数が547件。

② 健康保険証や預金通帳の口座番号が必要な手続において、従前どおりが効果的と考え、情報照会を行っていない事例がある。

③ 前住所地の税の証明や住民票の写しといった書類の情報照会が可能となり、事務効率化に寄与している。情報照会により滞った事例はない。



壮瞥高校 朝市

視察報告

5月21日から24日まで、道外の先進事例を学ぶため、和歌山県那智勝浦町、日高川町、及び兵庫県養父市の3か所を訪問しましたので、その詳細をご報告いたします。

那智勝浦町視察報告

毛利 爾

移住・定住の取組の視察先として那智勝浦町色川地区を訪れました。

色川地区は世帯数174世帯、人口300人（かつては3千人）のうち174人が移住者です。

移住者受入の経緯として、はじめに、耕人舎を名乗る有機農業普及を志す5家族が移住を希望し、その後相互に行き来するなど、2年にわたる話し合いを経て、1977年に受け入れ、その後、耕人舎が農業実習生の受入を行い、定住者が増加していきました。ちなみに農産物は町のスーパーへ出荷したり、独自で販売先（個人など）を拓いているとのことでした。作物を作り自分で販売又は加工もして、収入を上げなければならないようです。

次に定住訪問プログラムを紹介いたします。このプログラムは、色川地区

のことをよく知って頂くために、通算4日〜7日程かけて地区住民宅を訪問し（15軒訪問、1軒につき約2時間）それぞれの思いや生活の実態、地域の行事への参加等について、意見交換や情報収集を行ってもらいます。宿泊は短期滞在施設「籠るさと塾」を、1年間を目途に利用してもらい（当町では農業研修シェアハウス農業就農希望者）、住民とのコミュニケーションを取ることが可能です。

農業体験では、農家の方がボランティアで受入をしており、体験の費用はかかりません（行政から農家への支援もあります）。農家の方の地域のためになるのなら、この思いからとのことでした。

また、実際の生活環境は、山間部であり、交通は不便、水道が不便なところもあり、診療所は月に一回・救急や専門医は40分程かかる町の病院へ行くこととなります（特段の救急時にはドクターヘリで対応）。わ



那智勝浦町視察

が町よりも不便ですね。ですが、皆さん、その自然を求めているらしいですね。

移住・定住について色川地域振興推進委員会の方がおっしゃるには、「移住・定住で来る方自身の覚悟が必要です。でなければ途中で去ることになる。」とのことでした。

しかし、お話を伺っていると、地域の皆さんで受入に協力をしているようでした。その努力の結果、毎年2〜3軒の移住家族がおられるそうです。

最後にお知らせです。ご存じの方

もいらつしゃると思いますが、当町では、地域おこし協力隊の今井さん（移住・定住）、水野さん（空き家対策）が取り組んでいます。どうぞご相談ください。

日高川町視察報告

佐藤 忖

ドローンによる山間部家庭に荷物の配送を

●和歌山県日高川町美山地区は

平成17年5月1日、日高郡川辺町・中津町・美川村が合併して発足。東西約35km、南北約10km、面積は壮瞥町より広く331km²で、約90%が森林。

今回視察した旧美川地区の人口は1,285人、高齢化率51%。

町の中央部を二級河川、延長127kmの日高川が流れ、古くから広大な自然・歴史・文化を築いてきた地域。

町役場美川支所で企画施策課担当者から、事業推進の取り組み状況について説明後、実際にドローンを使用しているの配送状況について視察する。



ドローン飛行の様子

●取り組みの背景は

- ・物流を担うドライバーの労働環境の変化、人手不足による過疎地域への物流が停滞する恐れ。
- ・美山地区で新聞配達の郵送化。
- ・ドライバーの時間外労働時間の規制で、山間部における物流課題の深刻化。
- ・町内どこに住んでいても、同じ地域のサービスが受けられる、均衡の取れたまちづくりのための物流課題解消の必要性から。

●事業の取り組みは

配送センターから山間部などに荷

物の配送。

物流の安定化のために、配送事業者からの荷物を一旦、物流拠点に集約し、そこから陸上配送とドローンを活用する「共同配送」を構築。現在約50品目の食料品、日用品を選び、午後の希望時間により配送。新聞配達をドローンに切り替え実施。

●配送料金は

料金は配送料1000円(税込み)と、サービス料として商品代金の10%。

●ドローンの輸送は

飛行距離20km、速度は時速40km、飛行時間約50分、一回の積載量5kg以内の制限の中で事業を推進。買物の不便解消、利便性の向上に取り組んでいる。

養父市視察報告

湯浅 祥治

道外視察三か所目は兵庫県養父市で廃校を利用した企業誘致の取り組みを視察する。養父市は兵庫県北部但馬地域の中央に位置し、人口は2

万1,275人。面積の8割以上を山林が占める中山間地域。養父市の現状は人口減少と過疎化により廃校が増加。地域産業の中心である観光業は年間を通じた就業に不向きで定住人口が減少。山間部に位置し、製造業を誘致する土地が不足。これらの課題解決に向けて、2006年に廃校となった小学校校舎を食品製造や地元住民の交流の場として活用する「がんばる養父市企業誘致プロジェクト」を立ち上げる。そこに応募したのが兵庫県内調味料製造企業の但馬醸造所だ。

初めに但馬醸造所の大友所長の案内のもと、同社の畑で地域の名産でもある朝倉山椒の収穫を見学し、その後、但馬醸造所工場(旧西谷小学校)を見学する。学校の体育館は生産工場、校舎は事務スペースに活用されている。定期的な地域交流も行っている、大友所長から説明があった。

現状はコロナの影響もあって赤字であるが、数年で黒字化させると話されていた。社員は20名。工場見学後、養父市役所へ移動し商工観光課長田村氏より廃校利用の企業誘致について説明を受ける。土地は市が地権者と賃貸契約を結び、一括して但

馬醸造所に貸与。建物は無償貸与。市と地権者は5年更新、市と但馬醸造は10年更新。市から企業誘致の条件として定期的な地域交流を条件としたと話される。

この養父市の事例は、新たな雇用の創出。定住人口の増加。税收効果。地域コミュニティの再生を生み、企業も廃校利用による、初期設備投資費用の抑制、廃校での製造をPR素材にしてブランドイメージ向上に繋がった。廃校利用の企業誘致が地方創生に繋がった事例として大変有意義な視察であった。



但馬醸造所内視察

北海道町村議会議員研修会レポート

7月2日に札幌市内で開催された北海道町村議会議員研修会の参加についてご報告します。

『札幌が東京より暑くなる!?』
『加速する気候変動』

菊地 敏法

天気予報士、TBS天気キャスターで活躍している、森 朗氏の講演を拝聴しました。

講演では長年の気候変動から年々東京と同じくらい札幌も暑くなっている状況で、データを通して、猛暑日(35度以上)の日数が近年、札幌が増えていることを示され、初めて札幌で猛暑日を観測したのが、1924年で35.5度が観測、次に19年後の1943年に観測、1950年に35.1度、1972年に35.1度と、最初に観測されてから47年間で4回しか観測されていなかったのが、徐々に間隔が狭まってきて、1999年に35.2度、翌年の2000年には、2日連続で初めて観測され、その後、間隔が空くものの、2021年と2023年に3回観測されている。

一方、熱帯夜(最低気温が25度以上の暑い夜)が初めて観測され

たのが1981年で、4年後の1985年に観測された後、34年間観測されていなかったが、2019年、2021年には、3日間連続観測されており、昨年、2023年には7日間も観測されている状況である。

また、1980年からの沖縄、東京、札幌の気温の変化を見ても、札幌の上がり方が急であり、このままでいくと、2050年には東京と並び、2060年に沖縄と並



北海道町村議会議員研修会

んでしまいかもしれないと、近年40度を超える地域が増えていることや、農産物被害、水産物の水揚げの変化を通し、地球温暖化が加速度的に進んでいて、考えもしないことが起こる可能性があると言鐘を鳴らしていました。

今後、自治体として、最新の正しい情報を得ながら、温室効果ガス削減対策や防災対策に、なお一層の取組が大事であると感じました。

『人口減少と市町村の重要性・民主主義について 自省を含めての所管』

山本 勲

元衆議院議長 大島 理森氏による講演が行われました。

30年以上に亘る衆議院議員としての経験を基に、近年の日本の最大の課題である人口減少について、30年以上前から国の施策として正面から取り組むべき課題であったにも関わらず、政治スキャンダルとそれに伴う政治改革等の課題がクローズアップされてきた過去を振り返り、自省も含め人口減少問題に取り組めなかったことへの悔悟について語られました。

また、近年、ウクライナ侵攻などの海外情勢の影響が、国内の社

会・経済へ迅速かつダイレクトに影響を与えていることへの所感や、30年前に2大政党制の実現を目指した選挙制度改革(衆議院選挙の中選挙区制から小選挙区制への改正)に取り組んだ過去を振り返って、白か黒かを決める欧米式の民主主義は日本に馴染まず、多様な意見のすり合わせによる意思決定・民主主義のやり方が日本には馴染むと思われるとの所感を含めた考えを披露されました。

自治功労者表彰の受賞

加藤議員が、町村議会議員として満25年以上在職し地方自治の発展に功労があったと認められ、令和6年6月11日に北海道町村議会議長会会長から表彰されました。

6月14日の第2回定例会前に森議長から加藤議員に表彰状が伝達されました。



自治功労者(議員25年以上)表彰

『出会いには財産です』

認定こども園そらべつ保育所長兼
子育て支援センターげんき所長

柿崎 幸恵



平成24年4月1日、壮瞥小学校長として着任。それから3年間は、チーム壮小PTA

(當時はそう呼び合っていました)の皆さんの大きな支えと、学校を応援してくださる地域の皆さんとの出会いで充実した日々を過ごしました。

その後、室蘭市の2校を異動し、定年退職をしてから5年目。この度ご縁をいただき10年ぶりに壮瞥町で働くことになりました。着任するにあたり、幼稚園教諭は経験があるものの保育所勤務は初めてであり、自分の使命は何かを考えています。保育目標を達成するための保育所運営は当然ですが、自分の人生において人との出会いが大きな転機になったり生きがいになったりしたと思える

ので、心に残る言葉や出来事を職員の方々に伝えることで、少しでも仕事に生かしていただけるとこの出会いに意味があると考えます。

社会人1年生の幼稚園勤務。身だしなみ、笑顔を絶やさず、言葉遣いも。報告・連絡・相談は欠かせないめちやくちや厳しい初任者時代は今後に生きる指導でした。

先輩からの一言：「教師の姿を通し、子どもの感性を磨け！」

教員時代。少しハードルを上げたポジションにつくことは、スキルの向上につながる指導され、学級経営・教科指導など思う存分教員の醍醐味を味わいました。

校長の一言：「思う存分やってみる！責任は俺がとるから！」

社会教育主事としてネイパル洞爺、北海道生涯学習推進センターに勤務。まさに縦社会で、「おまえの仕事は個人の仕事ではない。北海道の教育を推進する立場で、誰でもいつまでも引き継げる仕事の跡を残せ。」首は縦に振るもの。YES, or はい。喜んで

で。「NO」という仕事はないと上司に指導いただき、仕事は買って出てやり通すと得るものは必ずあることを学びました。

課長の一言：「仕事は道民からの預かりもの。」

学校の管理職になって5校。管理職の最大の仕事は、事実として学校を変えること。そのためには教職員を育てることを肝に据えて14年間を全うしました。

ある町の教育長の一言：「仕事がないできて半人前、人を育てて一人前なんだ。」

これまでを振り返り、数々の出会いや経験を通し今の自分があり、さらに10年ぶりの壮瞥町で新たな出会いに感謝しています。年度初めの会議でお話ししたことは、子どもは地域の宝であり、地域みんな子育てするといふ壮瞥町子ども子育て支援条例のポイントに基づき保育所の責務を果たすこと。そして、どんな保護者や地域の皆さんの力をお借りしながら地域に愛される子どもセンター・保育所を目指すという方向性を示したところです。着任して3か月を過ぎますが、子どもセンターの職員はいろいろな持ち味や強みがあり、適材適所でがっちり組み合わさった石垣のように思えます。レンガやブロック塀のような一様に並んでいる組織より、大小・ひし形・三角などバラバラな個性が組み合わさった組織の方が頑丈でチーム力が発揮できるので頼もしい限りです。チーム壮小PTAとの出会いから再び壮瞥町の子どもの健やかな成長を願い尽力したいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

編集後記

最近、新聞紙上で目に付いている文字がある。日本版DBS法・改正地方自治法・改正政治資金規正法・農業基本法・民法改正案です。

今回、以上の中から民法改正案について、取り上げたいと思います。

この案で成立するのは、離婚後の親権を見直すことで、父母が合意できなくても、DV・虐待の恐れが認定された場合を除いて、家裁が共同親権と決定し得ると定めである。この場合、一方の親が単独で判断できるのは「急迫の事情」があるか、「日常の行為」に限られる。それ以外は父母の同意が必要で、意見対立時は、その都度、家裁が「どちらの親が決定するか」を決めるということです。

但、政府は日常・急迫の判断については、曖昧の答弁をし、参院へ送った。十分な議論もされずに可決されず、公布から2年以内に施行されるのです。皆さん、この法案どう思われますか。

(毛利 爾)